



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 10 号

平成 28 年 2 月 1 日
練馬区立上石神井小学校
校長 高橋 忠太郎

リトルティーチャー

校長 高橋 忠太郎

「リトルティーチャー」とは、中学生が先生となり、小学生に教える活動です。1月20日（水）の5校時目に、本年度2回目の「リトルティーチャー」が行われました。今回は、上中の1年生がリトルティーチャーとしてやって来ました。「リトルティーチャー」は、上小と上中の小中一貫教育研究の柱とも言うべき活動です。また、10年間続いてきた、両校の特色ある教育活動です。実施までには、小学校の学級担任による学習計画案の作成、小中教員による打ち合わせ、中学生と小学校教員の打ち合わせ、中学校での教え方の練習や学習活動に必要な教材や資料の作成等々、たくさんの準備が必要です。この活動を立ち上げた時の労力は大変なものだったのであろうと想像することができます。しかし、10年間の経験の蓄積から、現在は、非常に効率的に進めることができます。

さて、中学1年生は数人でグループを組み、小学校の全学年・学級に入って小学生のお世話を



してくれました。各学年のプログラムは毎年ほぼ同じですが、子どもたちは毎年1学年ずつ上がっていくので、マンネリ化することはありません。今回の活動内容は、1年生「チャレンジランドに挑戦しよう」、2年生「わくわくアスレチック」、3年生「リコーダー演奏を楽しもう」、4年生「英語に親しまおう」、5年生「冬をテーマにした俳句を作ろう」、6年生「12歳の未来予想図(中学校生活を知らう)」です。

この中から、2年生の活動を少し紹介してみます。「わくわくアスレチック」では、体育館に設置された6つのコースを、2年生が6つのグループを作り、5分交替で全て体験します。中学生は、事前に何回も体育館に足を運び、どのようなアスレチックコースをどの場所に作るかなどを綿密に計画します。その周到な用意により、当日はごく短時間でアスレチックコースを完成させることができました。学習中には、1年前まで教えられる側だった中学1年の子どもたちが、2年生の子どもたちを楽しませてあげようと、にこやかに、忍耐強く、献身的に活動する姿が見られました。中学生は、この活動を通して、他者に尽くすという、人間として最も大切なことを学んでいるのではないかと思います。リトルティーチャーの本質的な意義は、ここにあるのではないかと感じた次第です。一方、2年生の子どもたちは、屈託無く、本当に楽しそうに活動していました。中学生の姿に、きっとあこがれや頼もしさを感じていたことなのでしょう。終了後、小中の教員が集い、活動を振り返り、課題を明確にして、本年度のリトルティーチャーは終了しました。

2月行事予定

- 1(月) 委員会
- 4(木) 学校保健委員会
- 5(金) 避難訓練
- 8(月) クラブ
- 9(火) B時程・1年生4時間授業
新1年生保護者会
- 12(金) 木曜時間割
- 13(土) 土曜授業 月曜時間割 4時間授業
お金の使い方教室(6年3・4校時体育館)
- 15(月) クラブ(3年生見学) 保育園交流
- 16(火) たてわり給食・遊び
- 17(水) 4時間授業 下校 13:10
- 18(木) お別れスポーツ大会(5・6年5・6校時)

- 19(金) 能楽教室 6年3・4校時
- 22(月) クラブ(3年生見学)
- 23(火) 社会科見学(6年)
- 24(水)～26(金) ユニセフ募金
- 29(月) クラブ(最終)

3月行事予定

- 1(月) 保護者会(1・2年)
- 2(水) 6年生を送る会(3・4校時と給食)
- 3(木) 保護者会(5・6年)5時間授業(5・6年)
祝う会(6年)
- 4(金) 保護者会(3・4年)5時間授業(4年)
1/2成人式(4年)
- 7(月) 委員会